

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

二輪車の交通事故発生状況 令和4年中

1 二輪車事故の発生状況

令和4年中の二輪車が関係した人身交通事故は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数ともに減少し、死亡事故は8件8人（前年比±0件±0人）で横ばいとなりました。

【二輪車事故の発生状況】 (令和4年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	270	8	8	66	211	277
前年	281	8	8	75	216	291
増減数	-11	0	0	-9	-5	-14
増減率	-3.9	0.0	0.0	-12.0	-2.3	-4.8

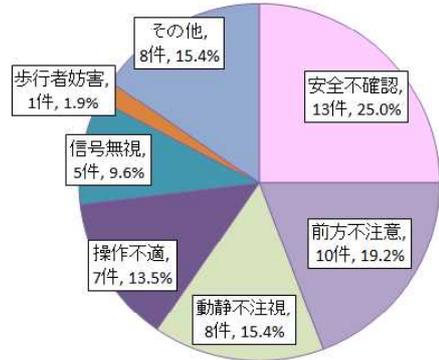
※本表の死傷者数には二輪車乗車中以外の死傷者を含む。

○ 二輪車が第1当事者となった事故 (令和4年中)

令和4年中、二輪車事故270件のうち、二輪車が第1当事者となった事故は52件（19.3%）で、そのうち22件（42.3%）が原付（第一種）でした。

第1当事者の違反別では、安全不確認（13件、25.0%）が最も多く、次いで前方不注意（10件、19.2%）が多くなりました。

【第1当事者となった二輪車の違反】



【二輪車の交通死亡事故発生状況】 (令和4年中)

No.	発生年月日等							事故類型			死者		
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	形状	類型A	状態	年代
1	4	4	1	21	金	夜	晴	岩沼市早股	県道	カーブ	二輪単独	自二	30歳代
2	4	5	24	19	火	夜	晴	大和町吉岡東	町道	カーブ	二輪単独	原付	40歳代
3	4	7	3	8	日	昼	晴	石巻市鮎川浜	県道	カーブ	二輪対二輪	自二	50歳代
4	4	8	16	15	火	昼	雨	七ヶ宿町中山	国道	カーブ	二輪対四輪	自二	50歳代
5	4	10	2	16	日	昼	曇	大崎市古川	高速道	直線	四輪対二輪	自二	50歳代
6	4	11	6	9	日	昼	晴	泉区松森	県道	交差点	四輪対二輪	自二	40歳代
7	4	12	13	18	火	夜	曇	宮城野区燕沢東	県道	直線	四輪対二輪	原付	40歳代
8	4	12	14	22	水	夜	雪	宮城野区日の出町	国道	直線	二輪単独	自二	50歳代

2 二輪車事故の発生推移 (基礎データ平成25年～令和4年)

二輪車事故の発生件数は減少傾向が続いており、記録の残る昭和41年以降で最少だった令和2年と同様に、ピーク時（昭和45年2,711件）の約1割で推移しています。

死者数は平成25年以降、14人以下で増減を繰り返しており、令和4年は8人で前年と同数となりました。

【二輪車事故の発生推移】 発生件数(件)



区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年
発生件数	683	608	610	516	518	465	349	263	281	270
死者数	14	6	10	11	6	7	9	5	8	8

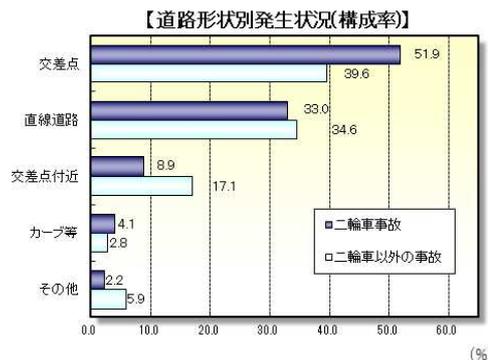
※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

3 二輪車事故の発生特徴等 (令和4年中)

(1) 交差点での発生が多い

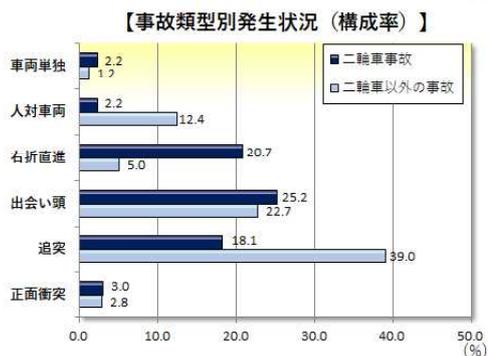
二輪車事故の半数近く(270件中140件、51.9%)が交差点で発生し、構成率が二輪車以外の事故(3,847件中1,524件、39.6%)を12.3ポイント上回りました。

また、構成率自体は低いものの、カーブ等の構成率(270件中11件、4.1%)が、二輪車以外の事故(3,847件中108件、2.8%)の約1.5倍となりました。



(2) 仙台市内での発生が多い

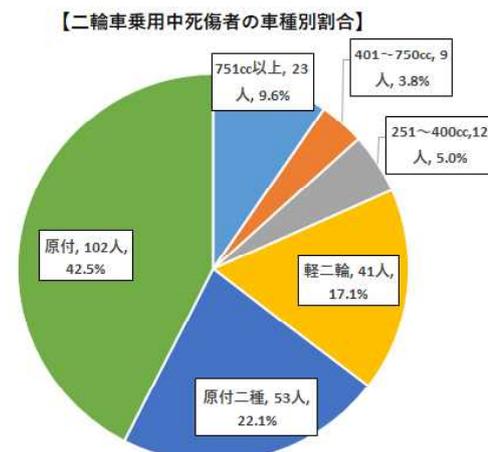
6割以上(270件中174件、64.4%)が仙台市内で発生(青葉区63件、宮城野区23件、若林区29件、太白区28件、泉区31件)し、二輪車以外の事故の構成率(3,847件中1,991件、51.8%)を12.6ポイント上回りました。



(3) 出会い頭事故が多い

事故類型別では、ほとんどが車両相互事故(270件中258件、95.6%)であり、中でも出会い頭(68件、25.2%)が最も多く、次いで右折直進事故(56件、20.7%)が多くなりました。

右折直進事故の構成率は、二輪車以外の事故(3,847件中193件、5.0%)の約4倍となりました。



(4) 原付乗車中の死傷者が多い

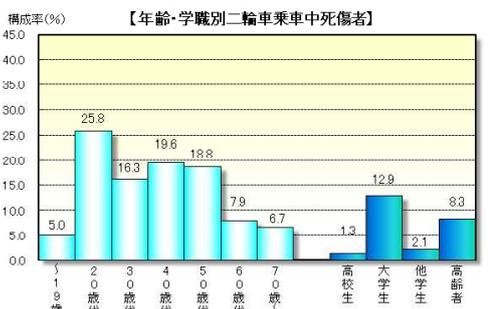
二輪車乗車中死傷者の車種別では、原付(第一種)が4割以上(240人中102人、42.5%)を占め、最も高くなりました。

(5) 20歳代が死傷する事故が多い

二輪車乗車中の死傷者の年齢別では、20歳代が240人中62人(25.8%)で最も多くなりました。

学職別では、大学生が31人(12.9%)で最も多くなりました。

また、通行目的別では、私用(買物)が43人(17.9%)で最も多くなりました。



【年齢・学職別二輪車乗車中死傷者】 ※学職別は主なものの抜粋

区分	年齢別							学職別				
	~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳~	計	高校生	大学生	他学生	高齢者
死者数			1	3	4			8				
構成率	0.0	0.0	12.5	37.5	50.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0
負傷者数	12	62	38	44	41	19	16	232	3	31	5	20
構成率	5.2	26.7	16.4	19.0	17.7	8.2	6.9	-	1.3	13.4	2.2	8.6
死傷者数	12	62	39	47	45	19	16	240	3	31	5	20
構成率	5.0	25.8	16.3	19.6	18.8	7.9	6.7	-	1.3	12.9	2.1	8.3